

《担当者名》 高橋 由紀 t-yuki@hoku-iryu-u.ac.jp 志水 朱 下山 美由紀 池森 康裕

【概要】

利用者の居住環境における支援体制のあり方を理解できるようになるため、小規模多機能型居宅介護と認知症高齢者グループホームにおいて介護実習を行う。

【学修目標】

1. 地域との関りや、地域での生活を支える施設・機関の役割を学び、地域における生活支援技術を理解することができる。
2. 家族の関わりや家族支援について理解することができる。
3. 様々な利用者の生活像、障害者像を理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1週目	グループホームもしくは小規模多機能施設 1施設6日間	<p>施設の特徴、利用者の特徴、職員の職種、施設機能の特徴、日課、週間スケジュール、年間行事などについて把握する。</p> <p>基本的な生活援助を行いながら、コミュニケーションの取り方などの生活支援技術を実践する。</p> <p>利用者の居住環境における支援体制のあり方を学ぶ。</p> <p>利用者の個別性を尊重した自立支援のあり方を理解できる。</p> <p>地域の社会資源について理解し連携について学ぶ。</p> <p>地域における生活支援を実践的に学ぶ。</p> <p>記録の機能と目的について理解し、利用者の観察や観察や関わりをもとに記録し、報告することができる。</p>	高橋 志水 下山 池森
2週目	グループホームもしくは小規模多機能施設 1施設6日間	<p>施設の特徴、利用者の特徴、職員の職種、施設機能の特徴、日課、週間スケジュール、年間行事などについて把握する。</p> <p>基本的な生活援助を行いながら、コミュニケーションの取り方などの生活支援技術を実践する。</p> <p>利用者の居住環境における支援体制のあり方を学ぶ。</p> <p>利用者の個別性を尊重した自立支援のあり方を理解できる。</p> <p>地域の社会資源について理解し連携について学ぶ。</p> <p>地域における生活支援を実践的に学ぶ。</p> <p>記録の機能と目的について理解し、利用者の観察や観察や関わりをもとに記録し、報告することができる。</p>	高橋 志水 下山 池森

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表30%、実習の記録、カンファレンス、課題・計画など70%とし、これらの項目を総合し評価する。

【教科書】

使用しない

【備考】

この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護実習」に該当する。

【学修の準備】

事前学習した内容を実習場面において統合化できるようにする。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.1.3.4

【実務経験】

高橋 由紀(介護福祉士) 志水 朱(社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士) 下山 美由紀(看護師) 池森 康裕(介護福祉士・社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護・看護分野の専門職として実務経験を活かし、実践的教育を行う。